



取扱説明書

三輪歩行車

KW5N



目次

安全に関するご注意	1
1. 製品の特徴、使用目的	4
2. 同梱部品の確認	4
3. 各部の名称	4
4. 仕様準備	5
5. 操作方法および使用方法	7
6. お手入れの方法	7
7. 保管についてお願い	8
8. 歩行車の保守、点検	8
9. 仕様	9
10. 製造番号	9
11. 保証とアフターサービス	10

このたびはカワムラサイクルの歩行車をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、商品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法
が記載されています。

取扱説明書は適宜更新しております。最新版を弊社ホームページからダウンロードして
いただけます (<http://www.kawamura-cycle.co.jp/product/manual.htm>)。

ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご利用いただく際には必ず携帯していただ
くか、必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

安全に関するご注意 ご使用になる前に必ずお読みください。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明]

正しい取り扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。
 禁止	してはいけないことを示しています。
 必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。

警告

禁止

この製品は、歩行車です。それ以外の用途には使用しないでください。
屋外に放置すると、サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内でおこなってください。

倒れ掛かるような急激な座り方はしないでください。また、座面部以外に座らないでください。
転倒または壊れてケガをする恐れがあります。

座面中央部に座ってください。
左右に片寄らず座ってください。

歩行車に座った状態で前方の地面に置いてある物を拾う等、強い前傾姿勢をとらないでください。歩行車が転倒し危険です。

歩行車を火気に近づけないでください。
シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。
熱湯消毒についても同様です。



勝手に改造・分解しないでください。
強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因になりますので、絶対に改造・分解しないでください。本来の装着品を外してのご利用も改造の対象となります。

警告



複数的人数で使用しないでください。
この歩行車は、一人用です。破損・事故の原因となります。

歩行車に座る際、一時停止する際は、必ず駐車ブレーキをかけて歩行車が固定されていることを確認してください。

ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。
ブレーキが変形・破損する恐れがあります。

介助者は、絶対に歩行車に乗って介助しないでください。

歩行車を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。

傾斜地での走行は、歩行車が予想外の方向に進むなど、大変危険です。

段差の前では一旦停止して前輪を持ち上げて乗り越えてください。決して勢いをつけて乗り越えないでください。
大変危険です。また、フレーム及び車輪等の損傷を受けます。

大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。

坂道や傾斜のあるところで駐車ならびに座らないでください。
安定性が悪くなり、転倒の恐れがあり大変危険です。絶対にしないでください。
傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。
滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても歩行器が動く場合があります。

雨ざらしにしたり、雨の日のご使用、ぬかるみ、水たまり等のある場所でのご使用はお避けください。
車輪のサビ等により故障の原因になります。

踏み切りを横断の際は、前輪をレールに対して直角にして通行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝に車輪がはまって危険です。必ず介助者と一緒にわたってください。

可動部に指や手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。

小さなお子様には使用させたり、遊ばせたりしないでください。



道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

注意



禁止

この製品は車いすではありません。人を乗せたまま移動しないでください。

走行するには片手で操作しないでください。

傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。

バッグのフタの上には立たないでください。転倒の恐れがあります。

バッグには、10kg以上の荷物は入れないでください。

下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。

- ・車道に近いところ
 - ・人通りのあるところ
 - ・路面に段差や凸凹のあるところ
 - ・湿気の多いところ
 - ・雨風の当たるところ
 - ・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
 - ・直射日光の当たる場所(車内も含む)
 - ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・子供がいたずらをする恐れのある場所
 - ・非常口、消火器、消火栓の前
 - ・坂道
 - ・暑い日や寒い日の戸外
- 事故やサビ・破損の原因になります。



必ず守る

ハンドル高さ調整レバーは、確実に締め付けてあるか必ず確認してください。

ハンドルは、必ず左右同じ高さにしてください。

ブレーキは必ず手で操作してください。

回転している車輪に指等を差し込まないように注意してください。

次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介助者に同行してもらってください。

- ・エスカレータ
- ・階段
- ・坂道
- ・ぬかるみ
- ・踏み切り
- ・交通量の多い道路
- ・防止柵のない側溝や路肩付近など
- ・凹凸の激しい道
- ・夜間、雨や雪、風の強い日
- ・凍結路
- ・深い砂利道や砂道
- ・その他危険が予想される場所

夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。

発進するときや段差を乗り越えるときには、車輪が真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください。

斜めに進入したり、車輪が斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、車輪の破損や車輪からタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。

認知症(痴呆症)の方がご使用される場合は、必ず介助者が付き添ってください。

また、歩行車の部品等を飲み込むことや一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、十分ご注意ください。

なお、この取扱説明書は、イラストが一部実車と異なる場合があります。

1.製品の特徴・使用目的

この商品は、自立歩行が可能な方の歩行機能を補う歩行車です。

手押しハンドルグリップ高さを調整できます。

疲れたときには、座面に座って休むことができます。

2.同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

- ・ バッグ
- ・ 取扱説明書（保証書はがき）

3.各部の名称



手押しハンドルグリップ

ブレーキレバー

（駐車ブレーキ）

バッグのフタ

バッグ

バッグの枠

前輪(キャスタ)

後輪

ハンドル高さ調整レバー

ステーパイプ

歩行される際に握る部分です。

ブレーキをかける際、握ってください。

レバーを押し下げると駐車ブレーキがかかります。

フタとしても、腰掛けとしてもお使いいただけます。

荷物などを入れられます。

バッグの取付枠です。

自在に方向転換できる小車輪です。

回旋しない車輪です。横すべりを防止します。

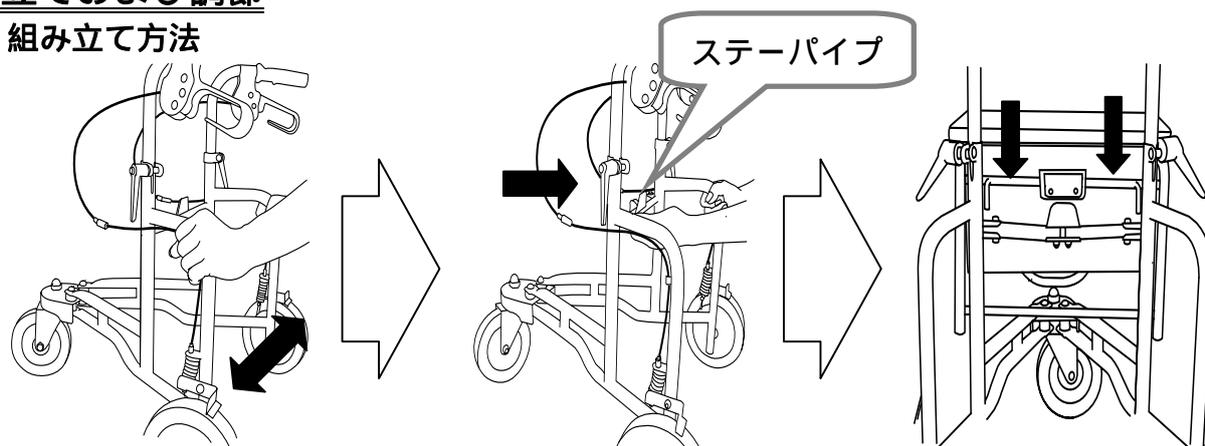
ハンドルの高さを調整する際に使います。調整の際は、しっかりと締め込んでください。

バッグを引っ掛けるパイプです。

4.仕様準備

組立ておよび調節

組み立て方法



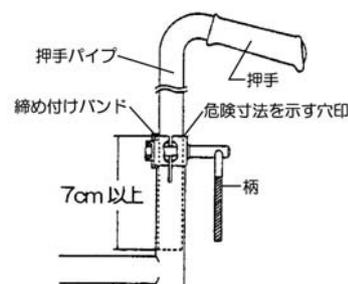
1. ハンドルをフレームに差し込み、フレームを左右に広げて下さい。

2. ステアパイプを一直線になるまで手前に引き、しっかりと一直線になった事を確認して下さい。

3. 一直線になったステアパイプにバッグを引っ掛けるように取り付けて下さい。

ハンドルの高さ調整

・ハンドル高さ調整レバーの柄を回し、ハンドルの高さを調整します。高さが決ったらハンドル高さ調整レバーを回しハンドルを固定します。ただし、押手パイプがフレームに7cm以上入っていることを確認してください。



POINT

ハンドル高さは、歩行器の後ろに立ち、ハンドルを軽く握ったときに肘が少し曲がるくらいの位置を目安にします。
安全のためにハンドルは左右同じ高さにして下さい。

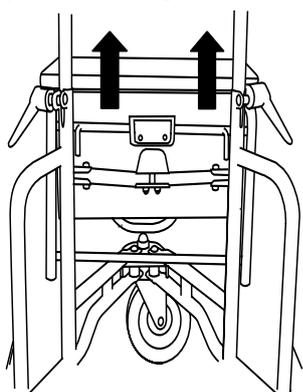
⚠ 注意

ハンドル高さは必ず同じにしてください。
ご使用になる前には必ずハンドルがしっかりと固定されていることをご確認ください。

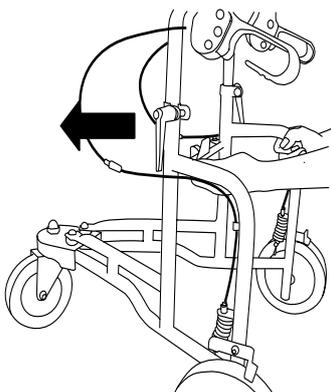
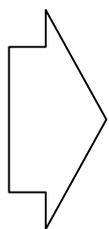
バッグの取り付け方

・バッグの枠を本体前部のフックにしっかりと引っ掛けます。

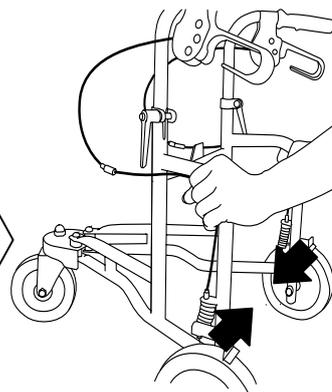
折りたたみ方法



1. バッグを取り外します。



2. ステアパイプを軽く前方に折りたたみます。



3. 左右ハンドルもしくはフレームを握って中央に寄せるようにたたみます。



注意

ステアパイプを折りたたむ際に指をはさまないようにご注意ください。

お使いになる前に

歩行車を使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
長期間使用を続けると、劣化が生じます。

装着品の確認

- ・ バッグはしっかりと取り付けられていますか？

ハンドルの確認

- ・ 手押しハンドルグリップはしっかりと締められていますか？
- ・ ハンドルの高さは左右同じですか？

ブレーキの確認

- ・ ブレーキが正しく作動しますか？
- ・ ブレーキをかけた状態で駆動輪が回転しませんか？
- ・ ロックできますか？

車輪

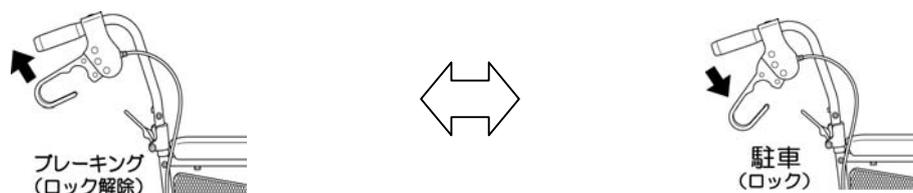
- ・ しっかりと固定されていますか？
- ・ スムーズに回転しますか？

全体的に

- ・ ガタつきはありませんか？
- ・ まっすぐに走りますか？
- ・ 各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
- ・ ワイヤーが部品等に引っかかっていませんか？

5.操作方法および使用方法

ブレーキのかけ方



- ・ブレーキレバーに指をかけ強く握るとブレーキが働きます。
- ・指を離すとレバーは元に戻ります。
- ・また、手のひらで下に押し下げるとブレーキがロックされ後輪が固定されます。
- ・ブレーキをかけたとき左右の後輪がしっかりと止まっていれば正常です。
- ・解除したいときは、再度レバーを強く引くとブレーキは解除されます。

腰かけとして利用する場合

- ・必ず駐車ブレーキをかけて歩行車が固定されている事を確認してからお座り下さい。
- ・腰掛ける際は必ず平坦な床面で行って下さい。斜面では行わないで下さい。
- ・歩行車が不安定な時は、腰かけないで下さい。転倒するなどの危険があります。

注意

傾斜地では駐車しないで下さい。傾斜地では駐車ブレーキを掛けても歩行車が動く場合があります、大変危険です

滑りやすい床面では、駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があります。転倒の危険がございますのでご注意ください。

6.お手入れの方法

金属部分（フレーム）

凹凸のある部分の汚れ、頑固にこびり着いた汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。ご使用後は必ず乾燥させてください。

樹脂（プラスチック）部

樹脂（プラスチック）部品には、市販の中性洗剤をご使用ください。

注意

シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。

変質・変色・傷みの原因となります。

たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。

傷みの原因となります。

熱湯やオゾンで洗浄しないでください。故障・変質・変色の原因となります。

7. 保管についてのお願い

歩行車は安全な場所に保管してください。



下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。

- ・車道に近いところ ・人通りのあるところ
- ・路面に段差や凸凹のあるところ ・湿気の多いところ
- ・雨風の当たるところ ・海沿いの屋外(潮風の当たるところ)
- ・直射日光の当たる場所(車内も含む)
- ・ストーブなど火気を使用し高温になる場所
- ・ほこりの多い場所
- ・子供がいたずらをする恐れのある場所 ・非常口、消火器、消火栓の前
- ・坂道 ・暑い日や寒い日の戸外

事故やサビ・破損の原因になります。

8. 点検・保守

この製品を安全にお使いいただくためには、日ごろのお手入れと点検整備が必要です。

ネジの緩みはありませんか？

ネジ、ノブ類の緩みがないことを確認してください。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

汚れていませんか？

ホコリや泥などで汚れたときはそのままにしておかず、早めに濡れ雑巾等でふき取ってください。汚れのひどいときは中性洗剤をお使いください。

ブレーキはしっかり効きますか？

ご使用前には必ずブレーキの効き具合を確認し、効きが悪いときにはご使用をお止めいただき、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかを確認してください。車輪のベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。原因が不明な場合、修理可能な場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

三点接地していますか？

前輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。三点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

手押しハンドルグリップは固定されていますか？

ご使用前には必ず手押しハンドルグリップがしっかりと固定されているかを確認してください。

消耗部品の交換は必要ですか？

タイヤやブレーキシューなど消耗部品の磨耗がないか確認し、磨耗が激しい場合には交換してください。

ワイヤーは切れていませんか？

ブレーキワイヤーは切れていませんか？ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。安全のためにワイヤーは1年に1度交換してください。

洗浄の際には、水、お湯または中性洗剤をご使用ください。

洗浄後は、乾燥させてください。カビやサビの原因になります。

異常が見つかったらご使用を中止してください。



スパナやドライバーなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。

異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して販売店へご相談ください。

9.仕 様

品名・名称		標準仕様・規格
		KW5N
フレーム本体		自立型左右折りたたみ式
全高	(mm)	695 ~ 945 (無段階)
全長	(mm)	470
全幅	(mm)	575
重量	(kg)	9.7
前輪		6in スチールホイールキャスト
後輪		7in スチールホイールキャスト
耐荷重 (ハンドル)	(kg)	100
	(シート) (kg)	120
制動兼駐車ブレーキ		ループブレーキレバー タイヤ押付式
ハンドグリップ		1.反射板付き 黒色

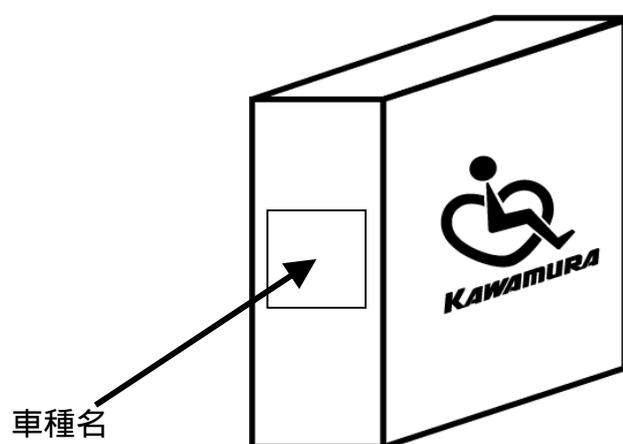
記載の重量や寸法は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

10.製造番号

アフターサービスなどを的確に受けるため、製造番号を記録しておいてください。
車体番号は右フレームに貼り付けられています。

車 種	
製 造 月	年 月

<シール貼付位置>



右フレームに貼付
 * * * *年 * *月
 株式会社 **カワムラサイクル**

11. 保証とアフターサービス

弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、無償にて修理を行うことをお約束するものです。

保証書

この商品には保証書を別途添付しております。

返送用登録はがきに所定の事項を記入のうえ、商品購入後 1 ヶ月以内に弊社へご返送いただきご登録ください。

ご登録がない場合は保証対象外となりますのでご注意ください。

保証期間

お買い上げ日より 1 年間（消耗部品は含みません。）

保証期間後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

消耗部品

・前輪、後輪 ・ブレーキ式 ・ワイヤー ・ベアリング ・バッグ

保証の適用除外となる場合

- (a) ご使用による消耗品および取扱不注意による破損
例) タイヤの磨耗およびパンク、シートの破損等
- (b) 地震、台風、水害などの天災および事故、火災による焼失・破損
- (c) お取扱の不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損
- (d) 保全上の不備および弊社の特約販売店以外で行った修理や改造等による破損
- (e) 弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損
- (f) 一般に歩行車が通行しない場所、または特殊な状態での使用による破損
- (g) 製品の本来の使用目的にそぐわない使用による故障破損
- (h) 取扱説明書に従わずして生じた故障破損
- (i) 取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障
- (j) 保証書をご返送いただいていない未登録の製品
- (k) 日本国外でご使用の場合

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの商品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5 年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼

異常がある場合は、ご使用を中止しお買い上げの販売店にご依頼ください。

本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになる時は、必ず本書もあわせてお渡してください。
一度使用したものは、原則として製品のお取り替えはできません。

異常や不具合が見つかったらご使用を中止して、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

万が一、ケガや事故が起きた際には、早急に弊社へご連絡ください。
(連絡先は、裏面にございます。)

消費生活用製品安全法の改訂により、製造メーカーは被害を拡大させないためにも早急な対応が求められております。

地球の環境保護のため、廃棄するときにはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。



■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2800
■仙台サービスセンター	〒982-0023	宮城県仙台市太白区鹿野 3-1-1	TEL022-746-9540
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷 1-8-3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野 2-12-9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町 1-3-11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒553-0004	大阪市福島区玉川 1-3-18 マックスビル 5階	TEL06-6479-2055
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地 3-9-1	TEL078-969-2820
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原 1-18-3	TEL092-882-4722
■神戸工場 ■神戸第二工場 ■いなみの工場			

※本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為に、一部予告なく変更することがあります。

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。